所長
昭和10年2月
秘

議題 日本労働組合會議 九州地方協議會第七回委員會議事報告

日時 二月六日午后七時半　場所 製綱小倉労働會館

出席者 伊藤、久保、白木、徳田、福井、篠原、岡、奥村

議長 伊藤卯四郎

一、開會

（海員組合側は二月七日の本部評議員会（金曜）で不在、海員協会は本夜は他の會合で出席不能であるが決議を一任してきてゐるぞ、このまゝ進て開会する。）

一、報告

イ、日本労働組合會議本部報告、

1、昭和十年一月十日の第三回政治委員会の報告

一、第六十七議會政府より提案される労働立法（労働爭議調停法改正案、労働者災害扶助法改正案、）の報告、

二、議案として第六十七議会対策

一、組合会議より議會提出する法律案（労働組合法、労働協約法）

一、議会提出する建議案（産業労働の統制に関する建議、軍需品工業の統制法）

一、議会に於て無産党代議士を通じ質問形式に於政府に実施を促さんとするもの（労働爭議調停法の改正、口言問保険の実施、対関審議会委員に無産党、労働組合（日本労働組合会議）農民団体の代表者を加えること、その他組合会議の大会に於て決定要求する労働者保護立法並に施設の実施、右と総合的に決議を行う合せ会を開くことを対相互社会局長官訪問）

2、昭和十年二月七日第三回執行委員会の報告

一、事業報告（大会決議の執行対策、第四労働代表の仮朝、大会決議の執行、産業労働会議設置に力せられたる結果、青部両氏（感謝状を記念品贈呈、その他）

一、第六十七議会対策（第三回政治委員会の決定）

一、対関審議会に対する決議　伊藤卯四郎

ロ、九州地方協議會報告

1、小倉の兵器工場、北大、九州東京、岩川硫黄工場、その二十人の従業員が八名（移轉したが之等は東京にあった当時は官業労働と組織されていたものである。）、九州川村保太郎氏とも面談し本部より渡辺年を訪問し特派員常任として在京の小倉幸正會共に東京より移駐組合員全部を纏めて地方協議会に加盟し官業労働としての勢力を果したいとのことであるが、これは只に官業労働のみではなく九州地方協議會としても誠に慶賀に堪えぬところである。

2、昨年海員組合員の製鉄所、産業組合、対策の特別改善に就き当局（六ヶ條の陳情書を提出してあつたが海運課長の交渉で具体化されたのと一月中旬久保田支部長、増原常務と同行して製鉄所を訪ねたが海運課長就任当初で巧く連絡が採れず会見延期中のところ、昨五日、再びく保田、増原両氏と同道、課長部長、海運課長と折衝、当局は極めて誠意ある方針で陳情要求の全項目を盛る案を作って呉れたが、これは大蔵省関係に於て多少の障害があるかも知れず、又商工大臣の認可を得れば効力が生ずるであろうが折角、これが実施に全力を傾すことを約束した。誠意を振りたい。

3、日本製鋼業従業員組合前主事、鎮座氏、満洲昭和製鋼へ転任するに当り同氏が九州地方協議会委員へ一任し、昨年九州の労働運動、特に特殊の功績を常に尽くされたその功績を常に尽くされたその地